

エルジェイ便り

LJ SOCCER PARK 2009

2009年6月発行 No.00048

エルジェイ・サッカーパーク

〒243-0022 厚木市酒井543

TEL : 046-220-0506

FAX : 046-220-0508

<http://www.l-sport.co.jp>

Lee's Words



先日、久しぶりにJリーグを観戦しに平塚競技場へ。仕事以外でサッカーの試合を見るのは稀な事です。J2湘南ベルマーレ対ロアッソ熊本戦。ロアッソ熊本には、弊社株主の藤田俊哉選手が今年からプレーしており、激励を兼ねての観戦でした(試合後会食の約束をしていました)。今年38歳になる藤田選手は年齢を感じさせないプレーで得点場面に絡み存在感を示し先制点、追加点と味のあるプレーで観客を魅了し、一時は3対1とリード、結果は3対3の引き分けに終わりましたが最後までハラハラドキドキの試合で私も楽しませてもらいました。時には会場に足を運ぶべき、と考えさせられました。

ここで皆様に私が試合を観戦する場合の手順をお知らせしますね。

主催者であるチームの強化部に連絡を入れ、IDカードとチケットの手配、また駐車場の確保を重ねてお願いします。この度はベルマーレ強化部長の大倉さんに担当をして頂きました。このIDを首から下げていれば会場内を自由に動けます。チームのロッカールームにも行けます。もちろんグラウンドに足を踏み入れる事も出来ますよ。もしこれをご覧いただいた方で、「私も連れて行け！」と言うのであれば遠慮なくご連絡ください。

試合後、藤田選手と本厚木駅前の「じょりい」へ向かいました。ラストオーダーの時間を過ぎての入店でしたが、シェフの近藤三郎さんをはじめスタッフの皆様には丁重におもてなしを頂き藤田選手も、食事に対応に、大満足で帰宅して行きました。

時計の針はすでに1時近かった事は覚えていますが…。

6月28日日曜日でも平塚競技場に足を運びます。湘南ベルマーレ対栃木FC戦。栃木FCには藤田選手と同様株主の米山篤志選手が今年から加入し活躍しております。もちろん試合後には会食の約束、楽しい会話が出来る試合を期待したいものです。

(李 国秀)

LJ Academics

最近梅雨の気配も感じられる時期になり、スクールの練習も雨の中行うことが多くなってきました。でも、そんなジメジメとした天気をものもしない子ども達に元気を分けてもらっています。

今回はピッコロについて書きたいと思います。

年中から年長へ、年長から小学1年生へと学年があがり、少しずつ成長の様子が見えてくるとも楽しいクラスです。例えば、今までは話を聞かずに走り回っていた子が少しずつ話を聞くようになってきたり、下の学年の子に注意を試みたりなどなど。

ピッコロクラスの保護者の方とお話をさせていただき色々伺っていると、良く耳にするのが「話を聞かない」がダントツで多いのです。でも、ピッコロクラスの子どもはそれで「良い」と考えています。

「話を聞かない」という子はまだ「聞く」という習慣がどうしても身につけていないため、どうしてもトレーニングの最中でも自分の興味が注がれる方へいってしまいがちです。けれど、そこは先ほども述べましたが「少しずつ」なのではないでしょうか。

トレーニング中、ボールを扱っているときにも一人一人に声を掛けてみたり、その後みんなを集めた時に質問を投げかけてみたり。子ども達にはこちらが聞いたことに対して「反応」出来るような、そんな仕組みを取り入れています。いきなりは難しいですが、ピッコロを卒業するころには他の同学年の子より話を「聞く力」のある子と一緒に育てていきましょう。

(ピッコロ/バビークラス担当:清田 祐介)

SOCCER PARK

EVENTS



『GALLERY-2 & UMBRO 協賛 第1回 エルジェイCUP』が5月24日(日)に開催されました。当日は大会開始予定時間になっても強い雨が止まずグラウンド1面水浸しになっていましたが、雨が弱まってくるとともに水溜りもどんどん無くなり、改めて抜群の水はけの良さを実感しました。

参加して頂いた10チームの方々は、味方チームだけではなく他チームにも声援を送り、白熱した試合が繰り広げられていました。大げさな表現かもしれませんが、エルジェイ全体が1つとなり普段とは違う熱気で盛り上がっている様に感じるとともに、成功の喜びを感じました。

協賛企業の担当者の方々も、グラウンドの水はけの良さには脱帽されたようで、さらには大会内容・盛り上がりにも大変満足して頂き、次回大会開催に向けて前向きな返答を頂きました。

ようやく自分で作り上げてきたモノが一つの形として実現させる事が出来ました。参加して頂いた選手の皆様を始め、ご協力して頂いた全ての皆様に感謝するとともに、今後の更なる発展に精を出していきますのでよろしくお願いいたします。

(イベント担当:永野 亨)